

観光ビジネス学科 シラバスの変更一覧

学年	ページ	科目名
1年	78・79	実践キャリア形成ゼミ
1年	84・85	観光ゼミⅠ（小里ゼミ）
2年	124・125	テーマパークビジネス
2年	154・155	観光ゼミⅢ（小里ゼミ）
2年	160・161	観光ゼミⅢ（鎌田ゼミ）

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-4-SEM-02				
	●	●	●	●	●					
科目名	実践キャリア形成ゼミ				単位認定者	小里 千寿		評価の方法	授業内課題等	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	1 年	開講時期	後期	単位数	1 単位		受講態度	30 %
						授業時間数	30 時間			
					授業形態	演習	授業回数		15 回	
授業の概要	「基礎キャリア形成ゼミ」で学んだ基礎知識を踏まえ、様々な職種や業種について理解する。 自分自身を客観的に分析できるようになるとともに、履歴書・自己紹介文・エントリーシートなどの書き方、インターネットを活用した情報収集の方法などを広く学ぶ。									
到達目標	①将来やりたいこと、できることを見極めることによって職業意識を高める。 ②社会人として働く意味や将来就きたい職業を具体的にイメージできるようになる。 ③ライフステージに沿ったキャリアプランを立てることができる。									
学修者への期待等	充実した大学生活を送りながら将来社会人となることを意識して必要な力の養成を目指しているため、グループワークやグループディスカッションをとおして自分の意見を積極的に発言することを期待する。									
回	授業計画					準備学修			事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
1	就職ガイダンスⅠ…就職活動キックオフガイダンス、支援センターの利用方法、求職票について(ゲストスピーカー)					事前学修：なし 事後学修：授業内容の整理と振り返り			0	30
2	観光業界を理解する 観光業界の現状と課題 (ゲストスピーカー)					事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理と振り返り			30	30
3	筆記試験について理解する(ゲストスピーカー) 自己分析とは					事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理と振り返り			30	30
4	就職ガイダンスⅡ…就職サイトの活用法(ゲストスピーカー)					事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理と振り返り			30	30
5	自己分析まとめ					事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理と振り返り			30	30
6	業界・企業研究とは					事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理と振り返り			30	30
7	筆記試験(SPI・一般常識)への取り組み(ゲストスピーカー) 業界・企業研究のワーク					事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理と振り返り			30	30
8	業界研究まとめ、履歴書・エントリーシートの書き方					事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理と振り返り			30	30
9	グループワーク…わかりやすい履歴書・エントリーシートについて、他者の意見を聞いて理解する					事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理と振り返り			30	30
10	社会人のキャリアヒストリー①…自分のロールモデルを探す 仕事理解:ホテル業界(ゲストスピーカー)					事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理と振り返り			30	30
11	社会人のキャリアヒストリー②…就職活動、人事の目線を理解する、採用される人材とは(ゲストスピーカー)					事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理と振り返り			30	30
12	社会人のキャリアヒストリー③…自分のロールモデルを探す 仕事理解:旅行業界(ゲストスピーカー)					事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理と振り返り			30	30
13	社会人のキャリアヒストリー④…自分のロールモデルを探す 仕事理解:エアライン業界(ゲストスピーカー)					事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理と振り返り			30	30
14	就職体験報告会…2年生から就職活動体験を聞く					事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理と振り返り			30	30

15	筆記試験(玉手箱)対策(ゲストスピーカー) 講座のまとめと総括:社会人とキャリア形成	事前学修:授業内容の下調べ 事後学修:授業内容の整理と振り返り	30	30
アクティブ・ラーニング	☐ 該当なし ☒ 該当あり:キーワード(グループワーク)			
教科書	必要に応じて,授業において配布する。			
参考文献	「改訂版キャリア形成2ー業界研究とセルフマネジメント」 東海大学現代教養センター編, 東海大学キャリア就職センター			
備考	ゲストスピーカーの予定や学生総合支援センターの協力体制, 受講者の理解度等により, 講義の順番や内容を変えることや, 遠隔授業で実施する場合がある。質問等については, 次回以降の授業でフィードバックする。			

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)				
複数の大学にて就職活動に関する相談やエントリーシート(履歴書)添削経験が15年ある。				

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-4-SEM-06				
	●	●	●	●	●					
科目名	観光ゼミⅠ				単位 認定者	小里 千寿		評価の 方法	授業内 課題等	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	1 年	開講時期	後期	単位数	1 単位		受講態度	30 %
						授業時間数	30 時間			
					授業形態	演習	授業回数		15 回	
授業の概要	「初年次ゼミ」（1年前期配当）で学んだ大学の学びの基礎を踏まえて、「観光ゼミⅠ」では観光ビジネスの現場で必要とされるコミュニケーション能力の獲得と、課題を発見し解決する能力の育成を目指す。具体的には各教員の専門的分野を中心に行われる観光に関するゼミ活動の中から関心のあるゼミを選択し、ゼミ内で課題の発見や調査、解決、振り返りなどの活動を協力して行う中で、観察力、協調性、コミュニケーション力、課題解決力などの力を身につける。									
到達目標	①観光にまつわる各種要素に関して学び、総合的な理解を得る。 ②実践的な授業を通し、当事者意識で観光を理解し、それぞれの持つ課題に対してアプローチできるようになる。 ③コミュニケーションスキルを身につけ、調べた事柄を相手に対する確に伝えられるようになる。									
学修者への期待等	観光にまつわる各種内容や準備について、自ら調べ課題を発見し解決のための方策について自分の意見を持つことを期待する。グループワーク等を行うため、遅刻・欠席等をしないように注意すること。									
回	授業計画				準備学修			事前学 修時間 (分)	事後学 修時間 (分)	
1	ガイダンス，自己紹介，ゼミの進め方				事前学修：なし 事後学修：授業内容の整理			0	30	
2	関連施設調査学修①：仙台市街地エリア				事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理			30	30	
3										
4	関連施設調査学修①の振り返りとまとめ				事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理			30	30	
5	関連施設調査学修②の準備 ＜調査学修場所の下調べ・質問事項等の整理＞				事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理			30	30	
6	関連施設調査学修②：秋保エリア				事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理			30	30	
7										
8	関連施設調査学修②の振り返りとまとめ				事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理			30	30	
9	課題の抽出と解決策に向けてのディスカッション				事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理			30	30	
10	関連施設調査学修③の準備 ＜調査学修場所下調べ・質問事項等の整理＞				事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理			30	30	
11	関連施設調査学修③：仙台市街地エリア（フィールドワーク）				事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理			30	30	
12										
13	関連施設調査学修④：仙台市街地エリア（施設訪問）				事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理			30	30	
14										
15	課題解決に向けてのオリジナルプランの策定 ：最終プレゼンテーション				事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理			30	30	

アクティブ・ラーニング	☐ 該当なし ☒ 該当あり：キーワード（調査学修，プレゼンテーション，フィールドワーク）
教科書	使用しない。適宜レジュメを配布する。
参考文献	授業中に適宜紹介する。
備考	フィールドワーク先の予定等の状況により順番や進度，内容を変更する場合や，遠隔授業で実施する場合がある。質問等については，次回以降の授業でフィードバックする。

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-3-ECO-13					
		●			●						
科目名	テーマパークビジネス				単位 認定者	鎌田 貢治		評価の方法	試験 (レポート)	40	%
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	2年	開講時期	後期	単位数	2 単位		授業内 課題等	30	%
						授業時間数	30 時間		受講態度	30	%
					授業形態	演習	授業回数		15 回		
授業の概要	我が国では1980年以降、東京ディズニーランドを始めとするテーマパークが次々と開園したが、それらの多くがバブル後に経営不振や休業、廃業に追い込まれた。本科目ではケーススタディとしていくつかのテーマパークを取り上げ、外的環境と企業努力の点から成功と失敗の要因を分析、理解する。また適宜テーマパークを実際に視察し、実際の運営に触れることで、テーマパークにおけるビジネスモデルを学ぶ。										
到達目標	テーマパークビジネスがもたらす経済効果とその周辺に係わる観光事業等がどのように関わっているのかを認識してもらう。またTDLのホスピタリティを深耕することで、自身のパーソナリティの一つの選択肢として会得してもらう。また世界のパーク状況についても基本事項を会得する。										
学修者への期待等	日本のテーマパークについて、現在どのような状況なのかを認識する。またTDL・USJの2大テーマパークについては個人の感想を含めて意見を求める。八木山ベニーランド、ハワイアンズでのフィールド学修を実施する。										
回	授業計画					準備学修				事前学 修時間 (分)	事後学 修時間 (分)
1	授業ガイダンス：講義の進め方、テーマパークの位置付け等					事前学修：無し 事後学修：テーマパークの現状深堀りをする				0	30
2	現地調査フィールドワーク①：八木山ベニーランド					事前学修：八木山ベニーランドの概略の下調べする 事後学修：課題点を深堀りする				30	30
3											
4	八木山ベニーランド視察の振り返り TDLの歴史現状等					事前学修：八木山ベニーランドの振り返りまとめをする 事後学修：TDLの内容検証を行う				30	30
5	地方のパーク現状（都内 中部 沖縄等）について					事前学修：地方のパークの下調べをする 事後学修：地方のパークの深堀りをする				30	30
6	日本3大遊園地の実情					事前学修：日本各地の遊園地の下調べする 事後学修：3大遊園地について深堀りをする				30	30
7	3大作法のグループワーク及びRP発表					事前学修：3大作法の内容下調べする 事後学修：自身のRPの検証をする				30	30
8	世界のテーマパークについて（特に米国を中心に）					事前学修：米国のテーマパークについて下調べする 事後学修：世界のテーマパークについて深堀りをする				30	30
9	テーマパークと地域観光との関連性モデルコース作成①（場所の選択）					事前学修：地域観光について下調べをする 事後学修：モデルコースの内容確認する				30	30
10	テーマパークと地域観光との関連性モデルコース作成②（内容の深堀り調査）					事前学修：モデルコースの内容精査をする 事後学修：他の発表者の深堀りをする				30	30
11	テーマパークのロコミサイトの検証及び課題検証					事前学修：ロコミの現状の下調べをする 事後学修：課題検証の深堀りをする				30	30
12	現地調査フィールドワーク② スパリゾートハワイアンズ					事前学修：スパリゾートハワイアンズの概略を下調べする 事後学修：スパリゾートハワイアンズ課題検証の確認をする				30	30
13											

回	授業計画	準備学修	事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
14	スバリゾートハワイアンズ振返り 発表	事前学修：振返り案件内容のまとめをする 事後学修：他の発表者の深堀りをする	30	30
15	今後のテーマパークの在り方等検証 全体授業振返り	事前学修：テーマパークの全体内容確認をする 事後学修：全体内容の課題検証をする	30	30
アクティブ・ラーニング	☐ 該当なし ☒ 該当あり：キーワード（フィールドワーク，発表）			
教科書	無し			
参考文献	授業の中で適宜紹介をする。			
備考	授業の進捗状況により講義内容が前後することがあります。			

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）
旅行業界に42年在籍，様々な経験に基づいて観光業全般の事例の提示を行います。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-4-SEM-11				
	●	●	●	●	●					
科目名	観光ゼミⅢ				単位 認定者	小里 千寿		評価 の方法	授業内 課題等	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	2年	開講時期	後期	単位数	1 単位		受講態度	30 %
						授業時間数	30 時間			
				授業形態	演習	授業回数	15 回			
授業の概要	「観光ゼミⅢ」は基本的に「観光ゼミⅡ」の学修を引き継ぐものであり、同じ教員の観光ゼミを前期に引き続いて後期も選択することが期待される。2年次の1年間をかけて、観光に対する認識を深化させ、「観光ゼミⅡ」で獲得を目指した力に加えて、 思考力・実践力 などを養う。具体的には教員の助言のもとで、関心ある課題の発見、調査、解決、振り返りを行うという一連の学修活動を繰り返すことで、2年間の観光ビジネスの学びを集大成するような認識の獲得を目指す。									
到達目標	後期は、観光に関連する現代日本における人々の意識変容を探る。内包する問題を 探り出し、解決のための糸口を探り、粘り強さや実践力を養う 。その上で、将来自分が目指す職業においてどのような意識変革や解決すべき問題があるかについて 探求し、解決していく 力を醸成する。									
学修者への期待等	各自の問題意識に対する理解及び課題を見つけ、問題に対してどのように探求すればよいかの方法を整理するための講義である。また、実際に企業との対話や課題提示に対するリサーチやディスカッションを通して、自分の考えを広げ他者を受け入れる価値観を醸成するためのプログラムとなっている。 学習成果：探究心、情報収集力、コミュニケーション力、思考力、課題解決能力、主体性									
回	授業計画					準備学修			事前学 修時間 (分)	事後学 修時間 (分)
1	ガイダンス：ゼミの進め方、ゼミ長などの選出、ゼミ予定の検討、調査するテーマの選定					事前学修：なし 事後学修：授業内容の整理とまとめ			0	30
2	関連施設調査学修①：仙台市街地エリア					事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理とまとめ			30	30
3									30	30
4	関連施設調査学修①の振り返り・まとめ					事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理とまとめ			30	30
5	関連施設調査学修①への提案準備およびプレゼンテーション					事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理とまとめ			30	30
6										
7	関連施設調査学修②の準備					事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理とまとめ			30	30
8	関連施設調査学修②：秋保温泉エリア					事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理とまとめ			30	30
9									30	30
10	関連施設調査学修②への提案準備およびプレゼンテーション					事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理とまとめ			30	30
11										
12	社会人スピーカーについての調査・質問項目のまとめ 最終プレゼンテーションの準備					事前学修：授業内容の下調べ 事後学修：授業内容の整理とまとめ			30	30
13	社会人に聴く（様々な働き方）社会人に必要な力（ゲストスピーカー）					事前学修：ゲストスピーカーについて下調べ 事後学修：授業内容の整理とまとめ			30	30

14	最終プレゼンテーション	事前学修：プレゼンテーションの下調べ 事後学修：プレゼンテーションの整理	30	30
15				
アクティブ・ラーニング	☐ 該当なし ☒ 該当あり：キーワード（調査学修，プレゼンテーション）			
教科書	なし。講義中に適宜プリント等を配付する。			
参考文献	授業中に適宜示す。			
備考	訪問先の都合等や学生の作業進捗具合等によって，順番や進度，内容を変更する場合や，遠隔授業で実施する場合がある。質問等については，次回以降の授業でフィードバックする。			

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-4-SEM-11				
	●	●	●	●	●					
科目名	観光ゼミⅢ				単位認定者	鎌田 貢治		評価の方法	試験 (レポート)	30 %
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	2年	開講時期	後期	単位数	1 単位		授業内 課題等	50 %
						授業時間数	30 時間		受講態度	20 %
				授業形態	演習	授業回数	15 回			
授業の概要	「観光ゼミⅢ」は基本的に「観光ゼミⅡ」の学修を引き継ぐものであり、同じ教員の観光ゼミを前期に引き続いて後期も選択することが期待される。2年次の1年間をかけて、観光に対する認識を深化させ、「観光ゼミⅡ」で獲得を目指した力に加えて、観光現象に関する注意力、思考力などを養う。具体的には教員の助言のもとで、関心ある課題の発見、調査、解決、振り返りを行うという一連の学修活動を繰り返すことで、2年間の観光ビジネスの学びを集大成するような認識の獲得を目指す。									
到達目標	観光ゼミⅡに継続して、宮城仙南地区の観光事情の検証と全国各地にある離島について深堀検証をする。									
学修者への期待等	宮城仙南地区の現状を検証し、観光資源が交流人口に与える選択肢を考察してもらうと同時に、全国にある離島を選んで調査深堀をし、同じく観光資源がもたらす様々な事象について考察してもらう。									
回	授業計画					準備学修			事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
1	ガイダンス：ゼミの進め方 ゼミ長等の選出 スケジュールの確認 班分け 等					事前学修：無し 事後学修：仙南地区の下調べをする			0	30
2	仙南地区市町村及び全国の離島について調査①（概要調査）					事前学修：離島について下調べをする 事後学修：仙南地区離島の深堀りをする			0	30
3	フィールドワーク①：山形銀山温泉地区視察					事前学修：山形銀山温泉と仙南地区のインバウンド比較分析について下調べをする 事後学修：振り返り深堀りをする			30	30
4										
5	仙南地区市町村及び全国の離島について調査②（産業調査）					事前学修：市町村離島の産業分野深堀りをする 事後学修：市町村離島内容の産業分野精査を行う			30	30
6	仙南地区市町村及び全国の離島について調査③（観光資源調査）					事前学修：市町村離島の観光資源の深堀りをする 事後学修：市町村離島の観光資源の精査を行う			30	30
7	フィールドワーク②：丸森町和紙作り体験					事前学修：丸森町の観光資源下調べする 事後学修：和紙作りの工程を再確認する			30	30
8										
9	仙南地区市町村及び全国の離島について調査④（祭り調査）					事前学修：市町村離島の深堀りをする 事後学修：内容の精査を行う			30	30
10	仙南地区市町村及び全国の離島について調査⑤（イベント調査）					事前学修：市町村離島のイベント事情の深堀りをする 事後学修：市町村離島のイベント事情内容の精査を行う			30	30
11	フィールドワーク③：岩沼金蛇水神社視察					事前学修：金蛇水神社の内容確認する 事後学修：振り返り内容精査をする			30	30
12										
13	仙南地区市町村及び全国の離島について調査⑥（課題調査）					事前学修：市町村離島の課題の深堀りをする 事後学修：市町村離島の課題の精査を行う			30	30

回	授業計画	準備学修	事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
14	各班によるまとめ 資料作成	事前学修：市町村の内容をまとめ集約をする 事後学修：市町村の内容をまとめ精査をする	30	30
15	宮城全般の観光資源について振り返り 総括	事前学修：振り返り項目の精査 事後学修：全体の確認をする	30	30
アクティブ・ラーニング	☐ 該当なし ☒ 該当あり：キーワード（フィールドワーク）			
教科書	無し			
参考文献	授業の中で適宜紹介をする。			
備考	授業の進捗状況により講義内容が前後することがあります。			

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）
旅行業界に42年在籍，様々な経験に基づいて観光業全般の事例の提示を行います。